エコアクション21
認証番号0012055

2022年度環境経営レポート

エコアクション２１　活動実績報告

（対象期間：２０２２年　４月１日～２０２３年　３月３１日）

アルナ輸送機用品株式会社

発行日　２０２３年　　６月　２３日

目次

１．組織の概要 2

２．対象範囲及び推進体制 3

３．環境経営方針 5

４．環境経営目標 6

５．環境経営計画及び取組内容 8

６．環境経営目標の実績 9

７．環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 10

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反・訴訟等の有無 12

９．代表者による全体評価と見直し・指示 13

１．組織の概要

(1) 会社概要

会社名	アルナ輸送機用品株式会社
取締役社長	井上　和也
創立	2002 年 4 月 1 日（創業 1947 年）
資本金	1 億円
従業員数	147 名（登録範囲の従業員数 190 名）（2023 年 3 月 31 日現在）
本社・工場・営業所 所在地	・本社・養老工場 ・中部営業所（2022 年 10 月 1 日組織改正により東京営業所中部エリア） 〒503-1241 岐阜県養老郡養老町沢田 665-2 TEL(代表)：0584-32-3332　FAX：0584-32-2934 TEL(東京営業所中部エリア)：0584-32-3282　FAX：0584-32-2934 ・東京営業所 〒103-0024　東京都中央区日本橋小舟町 11-11 日本橋小舟町 K ビル 4 階 TEL：03-5695-7661　FAX：03-3664-7541 ・大阪営業所 〒532-0003　大阪市淀川区宮原 5 丁目 1 番 28 号 新大阪八千代ビル別館 5 階 A 号 TEL：06-6397-0701　FAX：06-6397-3381
営業品目	・乗物用窓枠（鉄道車両用・バス・建設機械用） ・乗物用ドア（鉄道車両用・バス用） ・バス停留所標識・広告機材・バスシェルター ・各種パネル（ハニカムパネル・アーケードパネル）・待合室 ・アルミニウム表面処理

(2) 環境保全関係の責任者および担当者連絡先

代表責任者　取締役社長　　井上　和也
環境管理責任者　管理部長　　渡邊　直之
ＥＡ２１事務局　（担当）　　羽根田　大輔・加藤　俊介・深江　謙介
TEL(代表)：0584-32-3332　FAX：0584-32-2934

２．対象範囲及び推進体制

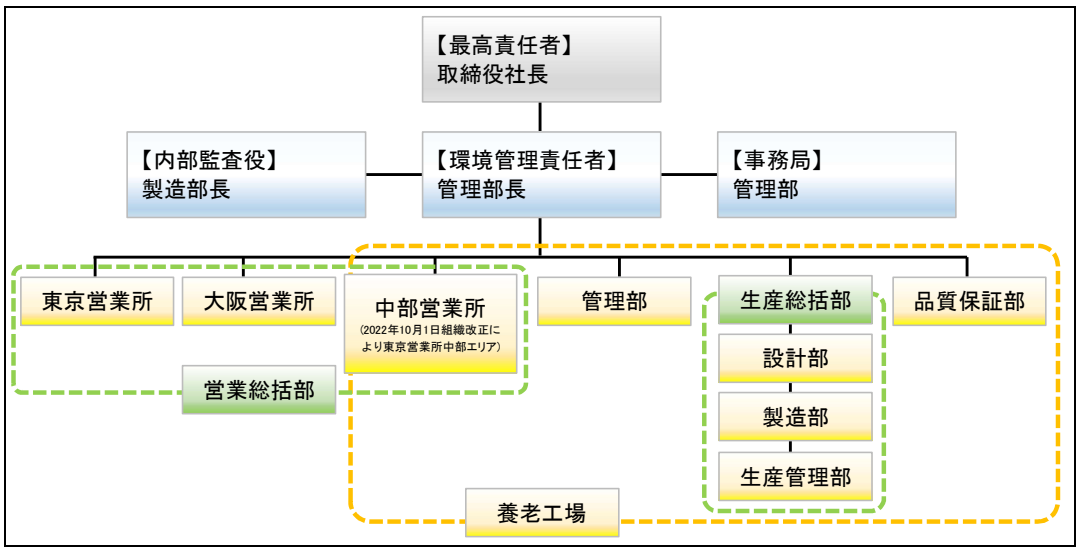
(1) 認証・登録範囲

本社・養老工場・中部営業所（2022.10.1 組織改正により東京営業所中部エリア）、
東京営業所、大阪営業所

(2) 認証・登録対象活動

乗物用窓枠・乗物用ドア・広告機材及び各関連部品の設計・開発・製造及び付帯サービス

(3) 推進体制



環境保全役職	役割
最高責任者	①環境管理責任者の任命 ②環境経営方針の決定 ③エコアクション 21 の構築・運用・管理に必要な資源の準備 ④全体の評価と見直し ⑤社内情報の外部公開可否の決定 ⑥内部監査役の任命
環境管理責任者	①環境保全活動の計画・実施と環境経営システムの維持・改善 ②最高責任者への環境保全活動実施結果の報告 ③環境関連法規等の調査および遵守と確認 ④エコアクション 21 に関する情報収集、必要に応じた改訂
事務局	①環境管理責任者の補佐（実務全般所管） ②社内活動の取り纏め ③環境経営目標、環境経営計画書の原案作成 ④環境経営レポートの作成 ⑤社外からの環境に関する要望・苦情の受付窓口
環境管理委員	①部門内の環境活動指揮および取り纏め ②部門員教育
従業員	①環境方針・環境経営計画に従った活動の実施、活動実績の取り纏め ②部門間相互チェック及び部門内の内部監査

(4) 環境管理委員会

事務局と従業員の間での意思疎通を図り、環境活動を推進するための会議体として環境管理委員会を設置し、各部門から選任した委員と事務局でメンバーを構成する。

(5) チェック体制及び内部監査実施要領

活動内容の部門間相互チェックを定期的に行い、この他に年１回、監査手順書に基づき、各部門にて内部監査を実施する。

当社製のソーラー電照式バス停留所

（ソーラーパネルとバッテリー、LED 照明を搭載し、外部からの給電が困難な場所にも対応）

３．環境経営方針

環境基本理念

１．　当社は、アルミ加工の技術開発と高品質の乗物用窓枠・ドア等の提供を通じて地球環境の調和を図るため、積極的に環境保全に努めます。

２．　省資源、省エネルギー、廃棄物の減量化など常に環境へ配慮した事業活動に努め、システム全体と環境経営システムの改善に継続的に取組みます。

環境行動指針

１．　事業活動において、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、総排水量の削減、化学物質の使用量削減など環境への負担の軽減に継続的に取組みます。

２．　環境に配慮した製品の開発に取り組み、また、環境負荷の低い調達に努めます。

３．　当社に関連する環境法規制および当社が合意した取決めを遵守すると共に、自主基準、規定などを整備し、関連する社会的要求を尊重します。

４．　環境経営方針を定め、環境マネジメントシステムを構築し、定期的な見直しにより環境保全活動の継続的改善に取り組みます。

５．　社員に対する教育・啓蒙を積極的に行い、環境意識の向上を図ります。

６．　この環境経営方針は全社員に周知し、要求に応じて一般公開します。

制定日　２０１７年　５月　１日
改定日　２０１９年１１月２９日

アルナ輸送機用品株式会社

取締役社長

４．環境経営目標

環境目標	基準値 (2019～21 年度平均)	2022 年度目標	2022～26 年度目標 (中長期目標)	
(1) 二酸化炭素の排出量 ① 電力の使用量 ② LPG の使用量	① 812 トン-CO_2 ② 868 トン-CO_2	使用量の維持管理	使用量の維持管理	
(2) 廃棄物のリサイクル率向上 ① 一般廃棄物 ② 産業廃棄物 ③ 特別管理産業廃棄物	① 67.2% ② 61.9% ※1 ③ 90.5%	① 67.8% ② 回収方法の見直し・回数低減 ③ リサイクル率の維持	① 70% ② 未設定 ※1 ③ リサイクル率の維持	
(3) 総排水量の管理	72 千トン	使用量の維持管理	使用量の維持管理	
(4) 化学物質使用量の把握・低減 ① PRTR 対象化学物質 ② 表面処理用薬品（PRTR 対象化学物質以外のもの）	① 5,439kg ※2 ② 61,971kg	使用量の維持管理	使用量の維持管理	
(5) 環境に配慮した自社製品の設計	（未評価）	20ﾎﾟｲﾝﾄ/年	100 ﾎﾟｲﾝﾄ/期間中 （20ﾎﾟｲﾝﾄ／年）	

※1　2021 年度末に混載物の回収方法を変更したため、この基準値は参考値とする。2022 年度の実績を基に再度中長期目標を設定する。

※2　サンエコン R-30Y 代替品への切り替えを 2020 年 3 月に実施し、切替前と切替後で PRTR 対象化学物質の使用量に大幅な差異が生じるため、切替後の 2020～21 年度を基準とする。

５．環境経営計画及び取組内容

(1) 二酸化炭素排出量

環境経営計画実施事項	範囲	具体的活動
(1)-1 電気の使用量		
①昼休み工場内機械の電源 off	各製造課	・定期的なパトロール　・啓蒙活動（呼びかけ等）
②休憩時間、離席時の電灯・ＰＣ電源 off	全社	・ディスプレイ自動電源 off 設定（5 分後） ・使用しない会議室などの電源 off 徹底 ・啓蒙活動（呼びかけ等）
③エアコンの電源・設定温度管理	全社	・適切な温度管理の徹底(室温目安設定等) ・使用しない会議室などの電源 off 徹底 ・啓蒙活動（呼びかけ等）
④省エネ設備の導入	全社	・設備投資計画に基づく新設備導入
(1)-2 LPG の使用量		
①暖房機の温度管理	各製造課	・適切な温度管理の徹底 ・啓蒙活動（呼びかけ等）
②設備の点検（暖房機、乾燥炉、ボイラー等）	各製造課	・定期的な点検 ・設備の異常の監視

(2) 廃棄物のリサイクル率向上

環境経営計画実施事項	範囲	具体的活動
①分別の徹底	全社	・ゴミ分別看板の設置　・啓蒙活動（呼びかけ等）
②特別管理産業廃棄物の管理（化学物質廃棄の管理）	養老工場	・排出量実績の収集 ・適切な保管、適切な処理業者への引き渡しと管理
③リサイクル化の検討・回収方法の見直し（混載物・ペーパーハニカム）	総務課	・実績の収集 ・処理業者との協議

(3) 総排水量の管理

環境経営計画実施事項	範囲	具体的活動
①上水道の節水	全社	・啓蒙活動（呼びかけ等）

(4) 化学物質使用量の把握

環境経営計画実施事項	範囲	具体的活動
①PRTR 対象化学物質を含む薬品の使用量把握	各製造課	・実績の収集
②PRTR 対象化学物質以外の薬品の使用量把握（表面処理用薬品）	各製造課	・実績の収集

(5) 環境に配慮した自社製品の設計

環境経営計画実施事項	範囲	具体的活動
①環境に配慮した自社製品の設計	設計課	・設計における環境への配慮についてポイント表を作成し、点数化して評価する。

６．環境経営目標の実績

環境経営目標	基準値	2022 年度実績	備考
(1)-1 二酸化炭素の排出量：電力	812 トン 3.13kg/工数（H）	833 トン 3.26kg/工数（H）	注記※１
(1)-2 二酸化炭素の排出量：LPG	868 トン 3.34kg/工数（H）	817 トン 3.20kg/工数（H）	注記※２
(2) 廃棄物のリサイクル率向上	一般：67.2% 特管産廃：90.5%	一般：75.3% 産廃：89.0% 特管産廃：85.7%	
(3) 総排水量の管理	72 千トン	84 千トン	
(4) 化学物質使用量の把握	PRTR：5,439kg 表面処理：61,971kg	PRTR：4,195kg 表面処理：76,225kg	
(5) 環境に配慮した自社製品の設計	20 ポイント/年	23 ポイント/年	

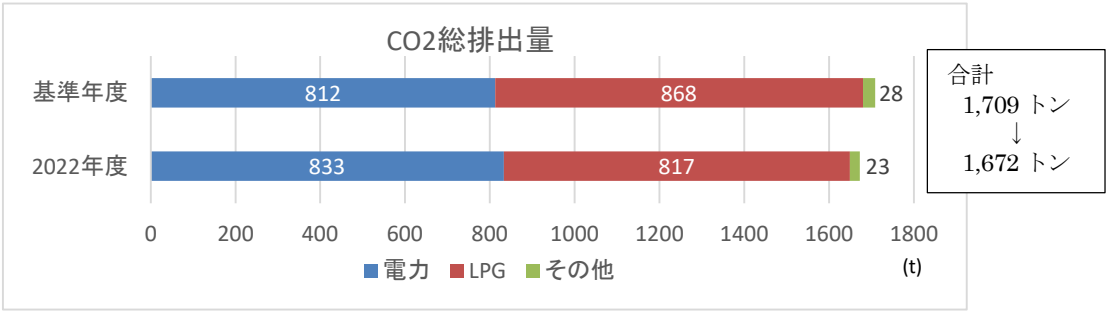
注記　※１　電力の CO_2 排出量を算出し年度間の実績を比較するために、環境省「令和元年度電気事業者別排出係数（調整後）」を使用

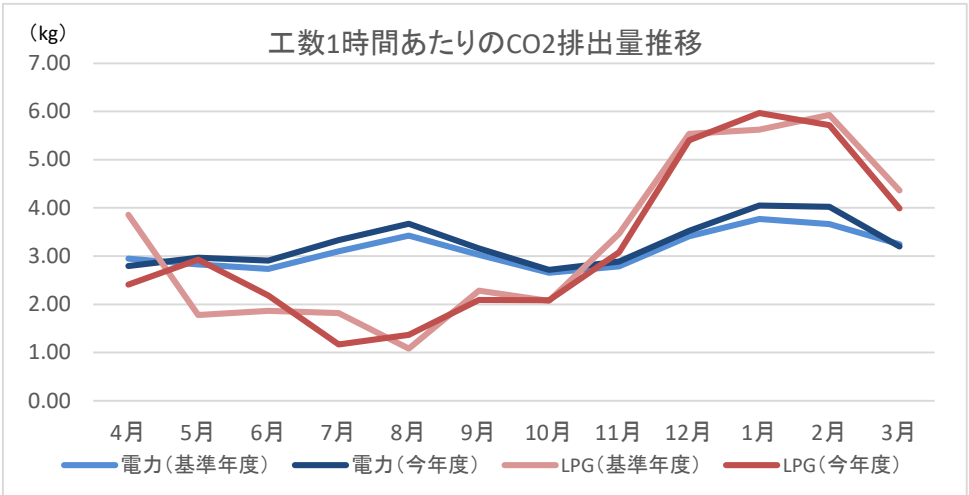
養老工場/本社：中部電力ミライズ株式会社　0.424kg-CO_2/kWh

東京営業所：東京電力エナジーパートナー株式会社　0.441kg-CO_2/kWh

大阪営業所：関西電力株式会社　0.318kg-CO_2/kWh

※２　LPG の CO_2 排出量を算出し年度間の実績を比較するために、環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を使用（LPG：3.00kg-CO2/kg）





７．環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価：◎よくできた ○ある程度できた △あまりできなかった ×全くできなかった
※当年度実績は 2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月）分

(1) 二酸化炭素の排出量
年間 CO_2 排出量：1,672 トン（基準値 1,709 トン）

環境経営計画実施事項	評価	次年度	結果と次年度の取組内容
(1)-1　電力			
①昼休み工場内機械の電源 off	◎	継続	・電力使用量は基準値に比べて 2.5%増加した。設備の老朽化やアルマイト不具合などが一因と考えられる。 ・バス窓工場では 23 年 3 月にコンプレッサ入替、23 年 5 月に LED 照明導入を行い、23 年度以降の節電効果が見込まれる。近年の光熱費高騰は損益にも大きな影響を与えているため、引き続き省電力化を目指す。
②休憩時間、離席時の電灯・ＰＣ電源 off	◎	継続	
③エアコンの電源・設定温度管理	○	継続	
④省エネ設備の導入	○	継続	
(1)-2　LPG			
①暖房機の設定温度管理	◎	継続	・LPG 使用量は基準値に比べて 5.8%減少した。生産量に見合った消費量で推移しているが、気候等にも左右されるため、引き続き削減できるよう取り組む。
②暖房機・乾燥炉・ボイラー設備の点検	◎	継続	

(2) 廃棄物のリサイクル率向上
年間リサイクル率（一般廃棄物）：75.3%
（産業廃棄物）：89.0%
（特管産廃）　：85.7%

環境経営計画実施事項	評価	次年度	結果と次年度の取組内容
(2)-1　一般廃棄物			
①廃棄物量実績収集	◎	継続	・従来の廃棄物管理活動に加え、ペーパーハニカムのリサイクル化を行い、紙・段ボール類でリサイクル率の向上が見られた。今後も適切な廃棄物処理により環境負荷の低減に向けた活動を続ける。
②分別の徹底	◎	継続	
③ペーパーハニカムのリサイクル化の検討	◎	達成済	
(2)-2　産業廃棄物			
①廃棄物量実績収集	◎	継続	・当社の産業廃棄物に占める割合の大きい混載物について収集量の実測を開始し、把握精度が向上した。 ・また、回収回数の低減とリサイクル可能な素材のリサイクル化を進め、回収に要するエネルギーと費用の低減にも繋げた。 ・今年度の実績を基に、23 年度以降もリサイクル率の維持に努める。
②分別の徹底	◎	継続	
③混載物回収方法の見直し・回収回数の削減・リサイクル化の検討	◎	達成済	
(2)-3　特別管理産業廃棄物			
①廃棄物量実績収集	◎	継続	・以前に引き続き、適切な方法で保管・処分できていることを確認した。 ・今後も適切な管理とリサイクル率の維持に取り組む。
②化学物質の適切な保管・廃棄のチェック	◎	継続	

(3) 総排水量の管理

年間総排水量：84 千トン（基準値 72 千トン）

環境経営計画実施事項	評価	次年度	結果と次年度の取組内容
①上水道の節水	○	継続	・上水道の使用量は漏水のため秋ごろに増加が見られた。修繕後は水量が適正化された。 ・総排水量については一時、表面処理生産量の増加を考慮しても排水量が多く記録されることがあった。天候にも左右されるが、仕損の低減や設備の適切な維持管理により使用量の安定化を目指す。

(4) 化学物質使用量の把握・管理

PRTR 対象化学物質年間使用量：4,193kg（基準値 5,439kg）

表面処理薬品年間使用量（PRTR 対象薬品を除く）：76,225kg（基準値 61,971kg）

環境経営計画実施事項	評価	次年度	結果と次年度の取組内容
①PRTR 対象化学物質を含む薬品の使用量把握	◎	継続	・PRTR 対象化学物質の使用量は基準値比 22.9%減少した。 ・特にラッカーシンナー（トルエン含有）の使用量が約 2/3 となったが、これを主に使用しているドア工場での生産量が減少したためと考えられる。 ・表面処理用薬品の使用量は基準値に比べ増加している。アルマイト工場での生産量の回復や不具合の発生等が影響しており、引き続き生産量との相関を注視する。
②PRTR 対象化学物質以外の薬品の使用量把握（表面処理用薬品）	○	継続	

(5) 環境に配慮した自社製品の設計

対象案件の合計点数：年間 23 ポイント（目標 20 ポイント）

環境経営計画実施事項	評価	次年度	結果と次年度の取組内容
①環境に配慮した自社製品の設計（ポイント表を用いて評価）	◎	継続	・今年度より件数だけでなく設計内容も評価に加えて集計し、一部工程の廃止や既存型を活用した新形式車の設計が見られる。引き続き、環境を意識した製品設計を推進する。

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

⑴ 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制などの名称	遵守状況
工場立地法	遵法
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	遵法
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）	遵法
消防法	遵法
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	遵法
高圧ガス保安法	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	遵法
水質汚濁防止法	遵法
第８次水質総量規制	遵法
浄化槽法	遵法
公害防止協定書（養老町及び地域住民）	遵法
毒物および劇物取締法	遵法
騒音規制法・振動規制法（第６条１項）	遵法
岐阜県公害防止条例（第４８条第１項）	遵法
労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）	遵法
フロン排出抑制法	遵法
土壌汚染対策法	遵法
小型家電リサイクル法	遵法

⑵ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

２０２２年１１月８日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。また、過去３年の間、関係機関からの違反などの指摘はなく、訴訟等もありません。

９．代表者による全体評価と見直し・指示

２０２２年度の環境経営活動各項目の評価と見直し・指示は以下の通りです。

Eco-Action21 更新審査時に Assessor 殿からもご指摘にあった様に、省エネや廃棄物のみならず、業務の効率化を図ることが環境負荷低減にも大きく貢献することになるので、目標と謳っている環境負荷以外にも業務改善に取り組む必要がある。

２０２３年　６月　２０日

アルナ輸送機用品株式会社

取締役社長